

第19回

日本末梢神経学会学術集会

2008年 9月5日 金・6日 土

名古屋国際会議場1号館

会長 祖父江 元 (名古屋大学大学院医学系研究科 神経内科)

プログラム・抄録集



学会事務局／名古屋大学神経内科
〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町65
TEL: 052-744-2386 FAX: 052-744-2393
jpns19@med.nagoya-u.ac.jp

第19回日本末梢神経学会学術集会開催にあたって

第19回日本末梢神経学会学術集会

会長 祖父江 元

この度、第19回日本末梢神経学会学術集会を名古屋で開催出来ますこと、大変光栄に存じます。

本学会は末梢神経疾患を神経内科、整形外科、産業医学、あるいは基礎医学の立場から一同に会して討論する学際的な特色のある学会です。

今回の学術集会ではいくつかの試みを行っております。

第1には皆様の御支援により応募演題数が103題となり、学術集会としての形がより整って来たと思います。御応募いただいた方々に改めて感謝申し上げます。このため本学会としては初めてポスターセッションを設けました。座長による発表形式とともに追加発言をお願いしており、本会の特徴である異なる領域の専門家の活発な討議の場となることを期待しております。さらに一般演題の発表者の方には口演・ポスター発表を問わず全員に2日間のポスター掲示をお願いしており、十分な意見交換の場となるよう願っております。

第2には、教育セッションとしてハンズオンセミナーを設けました。鏡視下手術と電気生理検査について実地の技術や考え方を学んでいただけたらと思います。

第3には今回日本手の外科学会第14回秋期教育研修会が名古屋で開催されるのに合わせて、本会と合同開催とさせていただきます、手根管症候群のシンポジウムを共同開催します。手の外科学会の関係者の方々の御配慮に深く感謝申し上げるとともに、多くの若い手の外科学会の会員の方の本会への御参加を期待申し上げます。

特別企画についても学際的なテーマについて御講演をお願いしております。Baron教授 (Department of Neurology, University Hospital, Kiel, Germany) には「Neuropathic pain: mechanisms and new treatment options」と題して痛みの病態と治療について、中村雅也先生 (慶應大整形外科) には神経再生の最近の進歩について、横井浩史先生 (東京大学工学部) には手のロボットインターフェースの応用と脳の活動との関係について、各々お話いただきます。また診断や治療上のピットホールについて神経内科、整形外科の立場から安藤哲朗先生、星地亜都司先生に、さらに最近の末梢神経障害のとくに治療の進歩について、いくつかの教育講演を組んでおります。産業医学講座では市原学先生にプロモプロパン中毒の最近の展開をお話いただきます。

本学会は学際的であることを生かして、末梢神経障害の医療と研究の発展にさらに貢献することが期待されていると思います。名古屋での本会がこのような発展に向けた実り多い交流の場になればと願っております。

また近くには名古屋城、徳川美術館、熱田神宮などがあり、少し足を延ばせば明治村、犬山城などがあります。学会の前後に時間がありましたら、是非お立ち寄りいただけたらと存じます。

2日間の本学会が、有意義なものとなりますように多くの先生方の御参加を心よりお待ちしております。

日程表

9月5日 (金)

	A会場 (4F) 141 + 142	B会場 (4F) レセプションホール	ポスター会場 (4F) レセプションホール	C会場 (3F) 131 + 132	D会場 (3F) 133 + 134
8:50	開会の辞				
8:55	一般 O-1 糖尿病性末梢神経障害 座長：安田 斎				
9:40	一般 O-2 手根管症候群 座長：長谷川 修				
10:30			一般 P-1 再生・手術手技 座長：長野 昭 一般 P-2 糖尿病・再生 座長：永田 博司 一般 P-3 遺伝性ニューロパチー 座長：宮嶋 裕明 一般 P-4 炎症性ニューロパチー 座長：向井榮一郎		
11:35	ワークショップ O-W ニューロパチーの臨床疫学 座長：糸山泰人				
12:15	ランチョンセミナー 1* 脊髄の再生研究の現状と課題 中村 雅也 (慶応大) 座長：平田 仁				
13:20	招待講演*§ Neropathic pain: Mechanism and new treatment options R Baron (Christian-Albrechts University, Kiel) 座長：仙波恵美子				
14:20	教育講演 1 最新のトピックス 池田修一 (信州大) 滋賀健介 (京都府医大) 牛田亨宏 (愛知医大) 座長：中川正法				
15:05	教育講演 2 末梢神経・脊髄障害の病理 神田 隆 (山口大) 小池春樹 (名大) 吉田眞理 (愛知医大) 座長：大西晃生			ハンズオン 鏡視下手術 講師 奥津一郎 六角智之 木村 元	ハンズオン 電気生理検査 講師 幸原伸夫 馬場正之 栢森良二
16:00	一般 O-3 家族性アミロイドポリ ニューロパチー 座長：安東由喜雄	一般 O-4 遺伝性ニューロパチー 座長：吉良潤一			
16:50	一般 O-5 基礎・再生 座長：越智光夫	一般 O-6 手根管症候群 座長：平澤泰介			
17:35					
18:00	会員懇親会 (18:00～) (立食・展望レストラン パステル)				

*は日本整形外科学会認定単位取得セミナー §は日本手の外科学会認定単位取得セミナー

9月6日 (土)

	A会場 (4F) 141+142	B会場 (4F) レセプションホール	ポスター会場 (4F) レセプションホール
8:10		評議員会	
8:30	モーニングセミナー* 末梢神経・脊髄疾患 診断のピットフォール 星地亜都司 (自治医大) 安藤哲朗 (安城更生病院) 座長: 井上聖啓		
9:30	一般O-7 免疫性ニューロパチー 座長: 野村恭一	一般O-8 基礎・再生 座長: 額田 均	
10:20	一般O-9 絞扼性末梢神経障害 座長: 堀内行雄	一般O-10 再生・治療 座長: 池田和夫	
11:10	産業医学 プロモプロパンによる神経障害 市原 学 (名大) 座長: 竹内康浩		
11:40	総 会		
12:10	ランチョンセミナー2* 糖尿病性末梢神経障害の診断と治療 有村公良 (鹿児島大) 山内俊一 (帝京大)		
13:10	企画講演* 個性適応型ロボットハンドを用いた 手指機能の再建へのアプローチ 横井浩史 (東大) 座長: 落合直之		
14:00			一般P-5 炎症性ニューロパチー 座長: 芳川浩男 一般P-6 炎症性ニューロパチー 座長: 桑原 聡 一般P-7 悪性腫瘍、中毒、炎症性ニューロ パチー 座長: 松井 真 一般P-8 絞扼性末梢神経障害 座長: 柴田 実
15:00	シンポジウム 手根管症候群 (手の外科学会合同プログラム) 梶 龍児 (徳島大) 内山茂晴 (信州大) 池田和夫 (金沢医療センター) 岡野昭夫 (星城大) 座長: 齋藤豊和 座長: 根本孝一		
16:30	閉会の辞		

*は日本整形外科学会認定単位取得セミナー §は日本手の外科学会認定単位取得セミナー

企画プログラム

2008年9月5日(金)

◆ランチョンセミナー 1

12:15~13:10 A会場

「脊髄再生研究の現状と課題」

座長：平田 仁（名古屋大学手の外科）

演者：中村 雅也（慶應義塾大学整形外科）

◆招待講演

13:20~14:10 A会場

「Neuropathic pain: mechanism and new treatment options」

座長：仙波恵美子（和歌山県立医科大学第二解剖）

演者：Ralf Baron（Christian-Albrechts University, Kiel）

◆教育講演 1

14:20~15:05 A会場

「最新のトピックス」

座長：中川 正法（京都府立医科大学神経内科）

1. 家族性アミロイドポリニューロパチーの治療戦略と治療後の病態

演者：池田 修一（信州大学脳神経内科、リウマチ・膠原病内科）

2. PMP22遺伝子異常による Charcot-Marie-Tooth 病に対する分子病態特異的な治療

演者：滋賀 健介（京都府立医科大学神経内科）

3. 運動器慢性痛のメカニズム：末梢神経系と中枢神経系にみられる変化

演者：牛田 享宏（愛知医科大学学際的痛みセンター）

◆教育講演 2

15:05~15:50 A会場

「末梢神経・脊髄障害の病理」

司会：大西 晃生（新船小屋病院）

1. 末梢神経の病理

演者：神田 隆（山口大学神経内科）

2. 病理からみた末梢神経障害

演者：小池 春樹（名古屋大学神経内科）

3. 脊髄病理

演者：吉田 眞理（愛知医科大学加齢医科学研究所）

◆ハンズオンセッション

1. 鏡視下手術

15:10～16:30 C会場

講師：奥津 一郎（おくつ整形外科クリニック）

木村 元（本村整形外科）

六角 智之（千葉市立病院整形外科）

2. 電気生理検査

15:10～16:30 D会場

講師：幸原 伸夫（神戸市立中央市民病院神経内科）

栢森 良二（帝京大学リハビリテーション科）

馬場 正之（青森県立中央病院神経内科）

◆ワークショップ ニューロパチーの臨床疫学

11:35～12:15 A会場

座長：糸山 泰人（東北大学神経内科）

1. アトピー関連末梢神経炎・脊髄炎の全国臨床疫学調査結果

演者：磯部 紀子（九州大学神経内科）

2. 本邦におけるCIDPの現状：全国調査より

演者：飯島 正博（名古屋大学神経内科）

3. 特発性手根管症候群治療の現況 アンケート結果の報告

演者：西浦 康正（筑波大学整形外科）

4. 糖尿病性神経障害の頻度：東北地方15,000人の実態調査

演者：馬場 正之（青森県立中央病院神経内科）

※ワークショップは一般演題の中から疫学関連の演題を選択した。

2008年9月6日(土)

◆モーニングセミナー

8:30~9:20 A会場

「末梢神経疾患・脊髄疾患 診断のピットフォール」

座長：井上 聖啓（札幌山の上病院脊椎・脊髄センター）

1. 末梢神経・脊髄疾患の臨床 整形外科医の立場から

演者：星地亜都司（自治医科大学整形外科）

2. 上肢のしびれ・麻痺の鑑別診断 神経内科医の立場から

演者：安藤 哲朗（安城更生病院神経内科）

◆産業医学講座

11:10~11:35 A会場

「ブロモプロパンによる神経障害—症例研究と動物実験による病態解明」

座長：竹内 康浩（名古屋大学名誉教授）

演者：市原 学（名古屋大学環境労働衛生学）

◆ランチョンセミナー2

12:10~13:05 A会場

「糖尿病性末梢神経障害の診断と治療」

座長：楠 進（近畿大学神経内科）

1. 神経内科専門医からみた診断と治療

演者：有村 公良（鹿児島大学神経病学）

2. 糖尿病専門医からみた末梢神経障害の治療

演者：山内 俊一（帝京大学内科）

◆企画講演

13:10~13:55 A会場

「個性適応型ロボットハンドを用いた手指機能の再建へのアプローチ」

座長：落合 直之（筑波大学整形外科）

演者：横井 浩史（東京大学工学系研究科精密機械工学）

◆シンポジウム（日本手の外科学会研修会合同プログラム） 15:00～16:30 A会場
「手根管症候群」

座長：齋藤 豊和（相模台病院）

座長：根本 孝一（防衛医科大学整形外科）

1. 手根管症候群の診断

演者：梶 龍兒（徳島大学神経内科）

2. 手根管症候群におけるMRI評価でわかってきたこと

演者：内山 茂晴（信州大学整形外科）

3. 手根管症候群の手術療法について

演者：池田 和夫（金沢医療センター整形外科）

4. 手根管症候群のリハビリテーション

演者：岡野 昭夫（星城大学リハビリテーション学）

共催各社

日本製薬株式会社

ランチョンセミナー1「脊髄再生研究の現状と課題」

エーザイ株式会社

招待講演「Neuropathic pain: mechanism and new treatment options」

スミスアンドネフュー株式会社

ハンズオンセッション 鏡視下手術

タクト医療株式会社

ハンズオンセッション 鏡視下手術

日本光電株式会社

ハンズオンセッション 電気生理検査

ミュキ株式会社

ハンズオンセッション 電気生理検査

バイオジェン・アイデック・ジャパン株式会社

モーニングセミナー「末梢神経疾患・脊髄疾患 診断のピットフォール」

ファイザー株式会社

ランチョンセミナー2「糖尿病性末梢神経障害の診断と治療」

一般演題プログラム

9月5日 (金)

◆一般演題 O-01 糖尿病性末梢神経障害

8:55~9:40 A会場

座長：安田 斎（滋賀医科大学看護学科）

001. 糖尿病性神経障害高度例の検討

長谷川 修（横浜市立総合医療センター）

002. 日本人糖尿病患者における下肢振動覚閾値：CASE-IVを用いた検討

真田 充（滋賀医大神経内科）

003. 高グルコースならびに糖化物負荷に伴うシュワン細胞株IMS32の動態変化

三五 一憲（東京都神経科学総合研究所・発生形態研究部門）

004. 糖尿病性末梢神経障害に対する Rho kinase 阻害薬の効果

金澤 康（東京慈恵会医大糖尿病・代謝・内分泌内科）

005. 糖尿病患者の脛骨神経伝導検査にみられる A 波の病的意義

馬場 正之（青森県立中央病院神経内科）

◆一般演題 O-02 手根管症候群

9:40~10:25 A会場

座長：長谷川 修（横浜市立大学附属市民総合医療センター総合診療科）

006. 糖尿病性腎症による透析導入例での手根管症候群の検討

馬淵まりえ（新城市民病院整形外科）

007. 手根管症候群の外科的治療例における電気生理学的重症度の検討

辻井 雅也（三重大整形外科）

008. 3 テスラ MRI による特発性手根管症候群の重症度分類

大茂 壽久（産業医大整形外科）

009. 3 テスラ MRI による特発性手根管症候群の重症度分類に基づいたトリウムシノロン手根管内注射の有効性

酒井 昭典（産業医大整形外科）

010. MRI による手根管症候群の治療法の検討

有野 浩司（防衛医大整形外科）

◆一般演題 P-01 再生・手術手技

10:30~11:30 ポスター会場

座長：長野 昭（浜松医科大学整形外科）

011. 末梢神経修復術後に損傷軸索支配脊髓前角細胞、および後根神経細胞で誘発される可塑性の検討 そのⅠ：末梢神経トレーサーとしてのAdenovirus Vectorの検討

韓 久卉（新潟大形成外科）

012. 神経断端緩徐伸長時の疼痛に関する研究

莎茹拉（筑波大整形外科）

013. 両側膝窩部に発生した神経内ガングリオンの1例

樋口 晴久（星ヶ丘厚生年金病院整形外科）

014. Oberlin 法と上腕三頭筋枝を三角筋へ神経移行した上位型腕神経叢損傷の1例

普天間朝上（琉球大整形外科）

015. 滑車上肘筋による肘部尺骨神経障害の電気生理学特徴

栢森 良二（帝京大リハビリテーション科）

016. 機能的アームスリングを使用し上肢機能が改善した頸髄神経根症の2症例

小川 真司（日本医大千葉北総病院リハビリテーション科）

追加発言：平田 仁（名古屋大学手の外科）

◆一般演題 P-02 糖尿病・再生

10:30~11:30 ポスター会場

座長：永田 博司（茨城県立医療大学医科学センター）

017. 実験的糖尿病モデルラットにおける末梢神経中の神経栄養因子（BDNF）の変動

菊池 美貴（茨城県立医療大医科学センター）

018. 糖尿病性末梢神経障害の血清・髄液中サイトカインの検討

櫻井 岳郎（岐阜大神経内科・老年科）

019. Methylcobalamin は methionine synthase を介して Erk1/2、Akt を活性化し、神経軸索伸展と生存を促進する

岡田 潔（大阪大整形外科）

020. Neuropoietic cytokine とその受容体の神経損傷・再生時における発現パターン

伊藤 泰広（トヨタ記念病院神経内科）

021. 糖尿病性軸索障害型多発ニューロパチーに合併した起立性低血圧の治療に関する1考察

長島 康洋（済生会横浜市東部病院脳神経センター脳血管・神経内科）

022. 末梢神経を介した骨組織への遺伝子導入

岡林 俊貴 (防衛医大整形外科)

追加発言：安田 斎 (滋賀医科大学看護学科)

◆一般演題 P-03 遺伝性ニューロパチー

10:30~11:30 ポスター会場

座長：宮嶋 裕明 (浜松医科大学第一内科)

023. 下肢の知覚障害から始まった遺伝性脊髄小脳萎縮症 (SCA8) の1例

大辻 晃子 (浜松医大第一内科)

024. 神経伝導検査から判明した球脊髄性筋萎縮症における電気生理学的 phenotype

鈴木 啓介 (名古屋大神経内科)

025. Charcot-Marie-Tooth 病 1B に神経開放術を行い、しびれの改善を認めた1例

犬塚 円 (安城更生病院神経内科)

026. ブラジル移民における近位型遺伝性運動感覚性末梢神経障害

前田 憲吾 (滋賀医大神経内科)

027. シャルコー・マリー・トゥース病に対する医療の状況と生活管理についての調査

大竹 弘哲 (公立七日市病院リハビリテーション科)

028. 無セルロプラスミン血症における末梢神経障害の検討

宮嶋 裕明 (浜松医大第一内科)

029. 高齢発症 FAP TTR Met30 の電気生理学的特徴

小池 春樹 (名古屋大神経内科)

追加発言：高嶋 博 (鹿児島大学神経内科・老年病学)

◆一般演題 P-04 炎症性ニューロパチー

10:30~11:30 ポスター会場

座長：向井栄一郎 (名古屋医療センター神経内科)

030. 急性自律性感覚性ニューロパチーの臨床病理学的検討

小池 春樹 (名古屋大神経内科)

031. 急性自律性感覚性運動性ニューロパチーの1例

大山 健 (名古屋第二赤十字病院神経内科)

032. 急性自律性感覚性運動性ニューロパチー (AASMN) の長期予後

荻野 裕 (東芝林間病院神経内科)

033. 混合性結合組織病（MCTD）の経過中に発症した急性自律神経ニューロパチーの1例
 迫 祐介（大分大脳／神経機能統御講座）

034. 再発性 Guillain-Barré 症候群を呈した抗 GD1a/GD1b 抗体が陽性の 35 歳男性例
 石川 景一（順天堂大脳神経内科）

035. 当院のギラン・バレー症候群の臨床的検討
 加藤みのり（名古屋医療センター神経内科）

036. ギラン・バレー症候群の臨床経過と回復パターン電気生理学的検討
 川上 治（安城更生病院神経内科）

追加発言：桑原 聡（千葉大学神経内科）

◆ワークショップ ニューロパチーの臨床疫学 11:35~12:15 A会場

座長：糸山 泰人（東北大学神経内科）

037. アトピー関連末梢神経炎・脊髄炎の全国臨床疫学調査結果
 磯部 紀子（九州大神経内科）

038. 本邦における CIDP の現状：全国調査より
 飯島 正博（名古屋大神経内科）

039. 特発性手根管症候群治療の現況 アンケート結果の報告
 西浦 康正（筑波大整形外科）

040. 糖尿病性神経障害の頻度：東北地方 15,000 人の実態調査
 馬場 正之（青森県立中央病院神経内科）

◆一般演題 O-03 家族性アミロイドポリニューロパチー

16:00~16:45 A会場

座長：安東由喜雄（熊本大学病態情報解析学）

041. 神経系でのトランスサレチン遺伝子発現部位の再検討
 村上 龍文（川崎医大神経内科）

042. 末梢神経障害と心アミロイドーシスを主徴とした Glu61Lys 変異による家族性アミロイドポリニューロパチー（FAP）の一家系
 能登 祐一（京都府立医大神経内科、循環器病内科）

043. 心筋症で発症したトランスサイレチン型アミロイドポリニューロパチーの2例
 横井 大地（名古屋医療センター神経内科）

044. 家族性アミロイドポリニューロパチーの末梢神経障害に対する肝移植の効果の検討
—肝移植の10年後に死亡した剖検例を通して—

阪本 徹郎 (熊本大神経内科)

045. FAP TTR Met30 の若年発症例と高齢発症例の比較からみたアミロイド沈着の病態解析

小池 春樹 (名古屋大神経内科)

◆一般演題 O-04 遺伝性ニューロパチー

16:00~16:45 B会場

座長: 吉良 潤一 (九州大学神経内科)

046. 未報告のMPZ変異を認めた高齢発症CMT2の1例

清水 洋孝 (兵庫県立姫路循環器病センター神経内科)

047. ミトフシン2遺伝子異常によるCharcot-Marie-Tooth病2A型の1例

川並 透 (山形大第三内科)

048. SEPT9遺伝子変異 (R88W) に伴うHereditary brachial plexus neuropathyの1家系

上田 麻紀 (九州大神経内科学)

049. 家族性NIHID (エオジン好性核内封入体病): 遺伝性ニューロパチーとの鑑別について

曾根 淳 (名古屋大神経内科)

050. マイクロアレイDNAチップによるCharcot-Marie-Tooth病の遺伝子診断

高嶋 博 (鹿児島大神経内科・老年病学)

◆一般演題 O-05 基礎・再生

16:50~17:35 A会場

座長: 越智 光夫 (広島大学整形外科)

051. 脊髄圧迫モデルにおける中枢部および末梢部交感神経活動に関する実験的研究

吉良 保彦 (京都府立福祉センターリハビリテーション病院)

052. 遺伝子組み換えマウスを用いたp38MAPKの神経再生制御機構に関する新たな知見

加藤 直樹 (埼玉医大整形外科)

053. Twitcherマウスにおける三叉神経系皮膚感覚神経の形態変化

榎原 智美 (明治国際医療大医学教育研究センター解剖学)

054. ヒト末梢血由来CD133陽性細胞移植による末梢神経再生

來嶋也寸無 (広島大整形外科)

055. Ca非依存性phospholypase A2bノックアウトマウスを用いたinfantile neuroaxonal dystrophyの病態解析

隅 寿恵（大阪大神経内科）

◆一般演題O-06 手根管症候群

16:50~17:35 B会場

座長：平澤 泰介（明治国際医療大学）

056. 手根管症候群の診断のピットフォール：手根管症候群の症状はいわゆる正中神経領域だけではない

姜 良勲（大阪外傷マイクロサージャリーセンター）

057. 手根管症候群に対しての知覚・痛覚定量分析装置による感覚障害定量評価

中村 恒一（信州大リハビリテーション部）

058. 電流知覚閾値（CPT）検査による手根管症候群の評価

津田 悦史（防衛医大整形外科）

059. 小皮切法による手根管症候群の治療

大谷 和裕（近畿大整形外科）

060. 重度手根管症候群に対する母指対立再建術

堀切 健士（琉球大整形外科）

9月6日 (土)

◆一般演題 O-07 免疫性ニューロパチー

9:30~10:15 A会場

座長：野村 恭一（埼玉医科大学総合医療センター）

061. 慢性炎症性脱髄性多発ニューロパチーの臨床病型と治療反応性

三澤 園子（千葉大神経内科）

062. 急性炎症性脱髄性多発根神経炎の早期診断では磁気刺激検査が有用である

松本 昭久（市立札幌病院神経内科）

063. 抗ガングリオシド抗体はヒト四肢筋において神経筋ブロックを起こさない

桑原 聡（千葉大神経内科）

064. 抗MAG抗体陽性IgM-MGUSニューロパチーの形態からみた病態発現機序について

川頭 祐一（名古屋大神経内科）

065. Brachial plexopathy に対する免疫療法の治療効果に関する検討

内藤 康介（信州大脳神経内科、リウマチ・膠原病内科）

◆一般演題 O-08 基礎・再生

9:30~10:15 B会場

座長：額田 均（オタゴ大学内科）

066. 血液神経関門のregulatorは血管周皮細胞である

清水 文崇（山口大神経内科）

067. ヒト血液神経関門in vitroモデルの確立

安部 真彰（山口大神経内科）

068. マウス毛様体神経節栄養因子（CNTF）のSchwann細胞における発現調節

伊藤 泰広（トヨタ記念病院神経内科）

069. ラット末梢神経虚血・再灌流傷害モデルにおける感覚障害：疼痛機序の解明に向けて

土原 豊一（防衛医大整形外科）

070. 無髄シュワン細胞に発現するNG2プロテオグリカンはC線維を取り囲む

明田 浩司（三重大整形外科）

一般演題 O-9 絞扼性末梢神経障害

10:20~10:56 A会場

座長：堀内 行雄（川崎市立川崎病院整形外科）

071. 肘部管症候群における内視鏡神経所見と臨床症状 —予備的検討—

吉田 綾（筑波メディカルセンター病院整形外科）

072. Struthers' Arcadeにおける尺骨神経絞扼性障害

奥山 訓子（慶應義塾大整形外科）

073. 肘部管症候群の術後成績—病態に即した手術法の選択

尼子 雅敏（防衛医大整形外科）

074. 特発性前・後骨間神経麻痺の術中所見からみた形態分類の試み

越智 健介（川崎市立川崎病院整形外科）

◆一般演題 O-10 再生・治療

10:20~11:05 B会場

座長：池田 和夫（金沢医療センター整形外科）

075. 末梢神経緩徐間接伸長の機能と形態への影響

伸長速度の違いによる電気生理学的変化と形態学的変化について

久保田茂希（筑波大整形外科）

076. 末梢神経修復術後に損傷軸索支配脊髓前角細胞、および後根神経細胞で誘発される可塑性の検討 その2：神経端側縫合の軸索再生とその経路

陳 焯（新潟大形成外科）

077. 末梢神経修復術後に損傷軸索支配脊髓前角細胞、および後根神経細胞で誘発される可塑性の検討 その3：神経交叉縫合術後の神経再生経路の検討

鈴木 肇（新潟大形成外科）

078. 新規多糖類誘導体ゲルによる末梢神経癒着防止効果

山本美知郎（名古屋大手の外科）

079. ポリオ後遺症患者におけるカーボン製長下肢装具の有用性

牧野健一郎（産業医大リハビリテーション医学講座）

◆一般演題P-05 炎症性ニューロパチー 14:00~15:00 ポスター会場

座長：芳川 浩男（兵庫医科大学神経内科）

080. 抗SS-A、抗SS-B抗体が陽性であったmotor neuropathyの1例

久留 聡（鈴鹿病院神経内科）

081. Churg-Strauss症候群に伴う末梢神経障害の臨床的特徴と治療経過

中村 雅一（北海道大神経内科）

082. シェーグレン症候群に伴うpainful sensory neuropathyに対するIVIgの有効性の検討

両角 佐織（名古屋大神経内科）

083. Microscopic polyangiitisに伴う末梢神経病変の評価

両角 佐織（名古屋大神経内科）

084. 自己免疫性ニューロパチーにおけるシクロスポリン経口療法の検討

津田 健吉（兵庫医大内科 神経・脳卒中科）

085. メチルプレドニゾン点滴パルス療法が有効であった開心術後の腕神経叢障害の1例

喜多也志（兵庫県立姫路循環器病センター神経内科）

追加発言：有村 公良（鹿児島大学神経病学）

◆一般演題P-06 慢性炎症性脱髄性多発神経炎（CIDP）・炎症性ニューロパチー

14:00~15:00 ポスター会場

座長：桑原 聡（千葉大学神経内科）

086. IgM gammopathyを伴い、抗IgM GD1b抗体、抗IgM GM1抗体が陽性であった自己免疫性ニューロパチーの1例

濱 哲夫（名古屋大神経内科）

087. CIDPを呈したIgG-I型多発性骨髄腫の65歳女性例

枝廣 陽子（順天堂大脳神経内科）

088. IVIgが無効で免疫吸着療法が著効したCIDPの2症例

宮本 勝一（近畿大神経内科）

089. 寛解導入にタクロリムスが有効であったCIDPの1例

松井 克至（春日井市民病院神経内科）

090. 慢性炎症性脱髄性多発神経炎（CIDP）における呼吸筋障害の検討

上條美樹子（中部労災病院神経内科）

091. AIDP・CIDPにおける横隔神経M波の臨床的意義

成川 真也（埼玉医大総合医療センター神経内科）

092. Babinski徴候と著名な中枢運動神経伝導遅延を伴った抗GM1抗体陽性
ギラン・バレー症候群の一例

富田 稔（名古屋大神経内科）

追加発言：楠 進（近畿大学神経内科）

一般演題P-07 悪性腫瘍・中毒・炎症性ニューロパチー

14:00～15:00 ポスター会場

座長：松井 真（金沢医科大学神経内科）

093. ボルテゾミブ投与後にポリニューロパチーを来した2症例

別府美奈子（神戸市立医療センター中央市民病院神経内科）

094. 悪性リンパ腫によりfocal neuropathyを呈した2例

富田 稔（名古屋大神経内科）

095. 経過7年半のびまん性大細胞型B細胞リンパ腫の経過中に四肢の運動感覚障害を呈し
剖検でneurolymphomatosisと診断された80歳女性例

橋本 明子（東京大神経内科）

096. 著明な好酸球浸潤を伴ったHCV-related cryoglobulinemic neuropathyの1例

結城奈津子（舞鶴医療センター神経内科）

097. 約20年後に確定診断し得た抗VGKC抗体陽性cramp-fasciculation syndromeの1例

権藤雄一郎（金沢医大神経内科）

098. 大脳白質,末梢神経障害を合併したrimmed vacuolesを伴う遠位型ミオパチーの兄弟例

野倉 一也（藤田保健衛生大学坂文種報徳會病院神経内科）

追加発言：服部 直樹（名古屋大学神経内科）

◆一般演題P-08 絞扼性末梢神経障害

14:00～15:00 ポスター会場

座長：柴田 実（新潟大学形成外科）

099. 軽症手根管症候群の治療における母指対立開排運動の試行

青木 孝文（日本医大整形外科）

100. 肘部における拘扼性尺骨神経障害の解剖学的病態と手術方法の選択

工藤 陽平（西島病院脳神経外科）

101. 尺骨神経障害に対する尺骨神経前方移行術の成績

井上 林（山形大整形外科）

102. 筋萎縮を呈するいわゆる胸郭出口症候群について

山野 慶樹（大阪マイクロサージャリーセンター）

103. 重度手根管症候群に対する一期的腱移行の適応

日高 典昭（淀川キリスト教病院整形外科）

追加発言：栢森 良二（帝京大学リハビリテーション科）